

2020年04月28日（火）【外為Lab】松田哲
タイトル：【文句はあるが、自粛要請に従います】

通常の年間スケジュールならば、今週から、ゴールデン・ウィークが始まるはずでした。

しかし、今年（2020年）は、新型コロナウイルスの感染拡大で、「ステイ・ホーム週間」となり、外出の自粛が要請されています。

正直な感想を述べるならば、国民にばかり、負担を求める政府や行政の対応に、不満が募ります。

「自粛の要請」であり、強制的に禁止することができないはずですが。

本来ならば、国民の健康を守るために、つまり、新型コロナウイルスの感染拡大を阻止するために、居酒屋などの営業を禁止して、その代わりに、その損失の補填を、（満額ではなくとも、一定額を）政府が補償する、そういった対応が筋だ、と考えます。

このままの状態（国民にばかり、負担を求める状態）が、今後も続くのならば、6月、7月ころには、多くの居酒屋や、多くの中小企業が、倒産に追い込まれることでしょう。

まさに、この新型コロナウイルス問題で、窮地に立たされている人達にしてみれば、「今年はゴールデン・ウィークどころではない」が本音でしょう。

外国為替相場に臨む際に、毎年、この時期になると、同じことを述べています。

ゴールデン・ウィークは、市場参加者が極端に少なくなるので、通常の値動きとは異なり、突飛な値動きになることも多々あります。

あるいは、市場参加者が極端に少なくなるので、全く動かないケースもあります。

「突飛な値動きになるのか、全く値動きが無いのか」は、事前には、誰にもわかりません。

だから、ゴールデン・ウィーク中は、相場を休んだ方が良い、と考えます。

正直なところ、国民にばかり、負担を求める政府や行政の対応に、不満が募りますが、ここは、日本国民らしい常識を持って、おとなしく、自粛要請に従い、「ステイ・ホーム」して、相場も、ポジションを小さくして、自粛しておこう、と考えます。

ごく目先の報道では、この週末の感染者数が、わずかながら減少したことで、「緊急事態宣言」が終了するのか、延長するのか、が話題になっています。

しかし、この程度のことで、全体の事態が良くなった訳ではない、と考えます。

個人的な見解ですが、この程度のことで、「緊急事態宣言」が延長されて当然だ、と考えます。

繰り返し、政府の対応に文句はありますが、ここは、日本国民の務めと考えて、自粛要請に従おう、と考えます。

みなさま、工夫して、良いゴールデン・ウィークをお過ごしください。

+++++

(2020年04月28日東京時間15:40記述)